

ほつかいどう NIE 通信

発行 北海道NIE推進協議会

〒 060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎ 011-210-5802 FAX 011-210-5826

新聞に限らず、いかななる文書でも教材になる。要は使い方の問題である。生徒たちに何を考えさせたいのか、その教材をどのように使うかが問われることであつて、新聞の数が多ければよいというものではない。もちろん、同じようなデータの新聞記事がある場合は、一紙より複数紙を使う方が考え方の違いを学ぶには適している。

なる新聞を学校にお渡しする努力を続けている。世の中には多様な考え方があることを知ることは、極めて大切なことである。しかし、社説が一つであっても、教材としてそれが直ちに公平さを欠くということにはならない。

発端になつた北海道新聞の社説の内容には、特定政党への利害につながるものがあることは私には思えない。公民科の授業である以上、政治問題を扱うのは当然であり、担当教師は公平性に留意しているはずである。

また、仮に授業の進め方に公平性が確保されていないと感じる生徒がいれば、

教材が複数であっても、扱い方次第で不公平になる可能性もある。

者が集まるところで、この問題について意思疎通を図りたいと考えている。いつもまでもすつきりしない状態を続けることは、北海道のNIE活動にとつてマイナスでしかない。

つて教材を新聞から拾い上げることがNIE活動の一歩であり、それ故にこそ、生き生きとした授業を展開できる。今回のよう

はもちろんのこと、わが国全体のNIE活動に冷水を浴びることになる。一日も早く解決を図りたいものである。

■行政介入は遺憾

教師は自信持ち実践を

北海道Z-E推進協議会
会長 山田家正



社説授業調査問題

山田会長が見解

今年8月、帯広市内の道立高で、北海道新聞社の社説「衆院選公示―歴史的な選択の幕が開く」を教材とした公民科の授業内容につ

いて、道議会議員から道教委に「保護者から『自民黨批判に見える社説を教材に使うのはおかしい』という声が挙がっている」と伝えたという（北海道新聞9月11日朝刊）。

道教委は同校に事情を確認し、折から衆院選挙期間中でもあり、「一紙のみの活用は、特定政党の政策について偏った認識を生徒に持たせかねない」との観点から、直ちに全道立高の公民科授業で、政党的な政策に

活関する社説や雑誌の記述を活動したかを調査した。

道教委の、この全道立臺に対する調査が波紋を呼び、道議会でも取り上げられ、また道内外の教育関係者、関係組合、NIE関係者などが道教委の対応を批判した。以上がこの問題の大筋であり、本通信読者は既にご承知のことと思う。

次に、本件と北海道NIE推進協議会（以下道推進協）とのかかわりについて触れておきたい。道推進協

して頂いている。そのおかげもあって、北海道のN.I.E活動は全国的に高い評価を頂いてきた。

今回の問題は、道推進協会とは直接関係のないところで起き、現状では直ちに構成メンバーで協議できる環境ではなく、加盟12社の代表者会議（新聞社・通信社のみの会議）を開いて意見交換しただけに止まつている。この時の議論等も踏まえ、会長の見解を掲載することとした。

に、外部からの情報によつて行政が介入すれば、教師が萎縮（いしゆく）し、活動が損なわれる恐れがある。NIE活動に熱心な先生方が今回の事態で萎縮してしまわないことを願つてゐる。

■解決へ
意思疎通

苦小牧、旭川 セミナーで事例報告

第4回苦小牧・日高セミナーが11月14日、小中高の教諭20人が参加して苦小牧民報本社で開かれた。第9回旭川セミナーも12月5日、20人が参加して北海道新聞旭川支社で開かれ、新聞記事を生かした実践例を報告し合つた。

内容図式化広がる発想 富川高

苦小牧では、4人が報告した。富圭教諭は、聞き取った記事の内容を生徒に書き出させて、図式化する「マツピングメモ」を紹介。「文章を視覚的にとらえ、発想を広げる効果がある」とより活字に親しむようになった様子を報告した。

論は、室蘭民報に載つた、貧しいアフリカの子どもが、映る国連の広告を教材に、語彙（ごい）や指導法が限られる1年生の感情表現に、「学校に通えてうれしい」などの感想があつたこと、「生きることの大切さを伝えることができた有意義な授業」と総括した。

A photograph showing four men in dark suits seated at a long table in a conference room. They are positioned behind their respective desks, which have papers and green plastic cups on them. The room has large windows in the background. The man on the far left is looking towards the center of the table. The man in the middle is looking slightly to his right. The man on the right is looking towards the center. The man on the far right is partially visible, looking down at his paper. The floor is a polished light-colored wood.

一方、旭川では5人が報告。忠和小の大武敦史教諭『写真中央』は、NIE実践校になつたプラス面の多さを強調した。児童に関心を持つ新聞写真を選ばせる取り組みで当番の児童が北海道新聞の『アイヌ神話集』を取り上げた記事を選び、「視点が育ち、良い記事に子ども目の目が行くようになつた。えらい」と記事を選んだ。

「なんだ日直をほめた」と教室でのやりとりを振り返つた。小平中の中野真弓教諭は、かべ新聞の題材探しで生徒たちの関心が暮らしている町の取り組みにも向かい、「一人の読み手だった子が自ら書き手になることで、違った視点で読み手を意識し始めている」と姿勢に変化が表れた例を紹介した。

論は、文化祭のかべ新聞づくりで「読んでわかる」ことばで考えを伝える、2つの意味を持つ言語力を鍛える「変化が表れたケースを紹介。パソコンを使つてもなお1カ月以上の時間が必

題材探し地域にも関心 小平由

旭川聾学校中学部の石川春菜教諭は、北海道新聞投稿欄「みらい君の広場」で、「聞こえに障害がある生徒たちは体験を通じて言いたいことを必ず持っている。書くことでどこかの誤りが修正でき、文章を一般の人人に読まれることで自信につながる」と報告した。



高校の国語科教諭として教科指導する際、新聞を教材に取り入れられなかつて以前から考えていました。前任校でNIEと出会つて以来、北海道新聞投稿欄「みらい君の広場」への投稿を指導しています。

3年前にいまの学校に転勤し、単元の切れ目を粗つて「三百字作文」と称し、2カ月に1度の割で表現指導をしてきました。

留萌高教諭 増子 優二



投稿通りに自信とやる気

高校の国語科教諭として教科指導する際、新聞を教材に取り入れられな

しかし、「こんな人に
なりたい」というテՂマ
で応募し、どうみても送

記

的に取り組むようになり、私は何も指導しません。しかし、私は生徒の文章が掲載されるたびにうれしくなりました。投稿文を送るにあたっては、NIEの教育効果を分

かります。生徒の「生の声」を届けます。私はこの指導法は変わりません。「たいていに取り組むようになります。私も生徒の文章が掲載されるたびにうれしくなりました。生徒の「生の声」を届けることが使命の一つのように感じ、誤字・脱字があつても、そのまま送つていいです。

年が活気づき、その勢いが保護者や地域を巻き込んでいく場面を目にしてきることです。

付するに堪えなかつた生徒の文章が紙面を飾り、北海道新聞社から激励文をいただきてから急に「ゲーム感覚」で、意圖

ん。テーマから「先生は分析すると、新聞への掲載こんなふうに考えて、こんなふうに筆を進めるが、あなたたちの若い感性からテーマをどう解釈して、どう結論づけるかなど」とただボヤくだけ。あとは机間巡視するだけ

が「プラスの強化付け」を促し、いろいろな場面で好影響を与える自信とやる気を引き出している。よう見受けられます。うれしいのは生徒だけではなく、受け持つ担任や学

留萌高の生徒を見る限り、それは該当しないように思います。今後も生徒の個性や良いところを引き出し、前向きに取り組む姿勢を育んでいきたく思っています。

富良野高・斎藤宏臣教諭は、進路を決めかねていた生徒が朝日新聞の自閉症支援プログラムに触れた記事に刺激され、視覚記号の一つであるピクトグラムを学ぶグラフィックデザインの道に進む決意を固めて貞事、志望の大学に合格したケースを披露し、「新聞から明確に人生が開けたケース」と締めくくった。

名寄高の近田泰生教諭は、国語表現の添削で、「生徒たちは書き直しを求めてもいい。やがてやる。書くことがさほど嫌いなわけでもないようだ」と生徒の地道な努力が再確認できた点を評価した。

20周年十勝新聞教育研が研究大会

「生きる力」はぐくむ

創立20周年を迎えた北海道十勝新聞教育研究会(舟越洋二会長)の研究大会が11月20日、第14回北海道NIE研究大会を兼ねて帯広市立啓西小で開かれた。

同研究会と道NIE推進協議会、道NIE研究会の主催。「生きる力を育てる新聞教育」をスローガンに、地元十勝や札幌から約60人が集まり、西陵中2年生と啓西小6年生による公開授

業や実践発表などを行つた。西陵中は、道徳の授業で乙戸貴宏教諭が改正臓器移植法に伴い、幼い娘の意思を確認できないまま、臓器提供に同意した父親の心境

を報じた記事などを紹介。わが子にも心臓疾患が見つかった自身の体験を交えながら、考え方などについて演習した。生徒たちは、臓器提供した娘の立場で「本人は生きていたかったはず」「ほかの人の命を助けられればいいのでは」など、生命の尊重をふまえた感想を発表し合つた。

また、啓西小の体育の授業では、NIEアドバイザーでもある森谷栄介教諭が、札幌弁護士会副会長という要職にいた人物や知名度の高い女性タレントが覚せい剤に手を染めた事件の新聞記事を使った指導に挑戦。

高校生で大麻に手を出し、薬物依存から抜け出せなくなつた男性の記事も読み聞かせ、児童たちに乱用を避ける意思をどう持たせ

づった記者もいた。保護者からも「子どもと白した生徒を募集して掲載。つらい体験を告白した生徒もいた。保

日本NIE学会第6回大

会が11月21日と22日に東京

で開かれ、「言語活動の充実に生きるNIE」を行な

れた。道内からは函館水産

高の山本かおり教諭が寄せて

いる「これまでの経験を忘れてはいけない」とつ

きめや薬物乱用防止の啓發に記事を紹介している。

今年9月には、1年前に

小中で臓器移植、薬物問題考える

るかなどについて考えた。大会では全国新聞教育研究協議会の岡野実、鈴木伸男の新旧両会長や、文部科学省初等中等教育局の永井克昇(かつのり)視学官も参加した。永井視学官は

来年7月29、30の両日、熊本市で開かれる第15回NIE全国大会(主管・熊本日日新聞社)の開催案が固まつた。大会テーマは「学

習」を新設する。スローガンは「簡易・善良・素朴」。ラフカディオ・ハーネン(小泉八雲)が明治27年(1894年)に旧制五高生に講演した熊本スピリットで、簡易は「シンプル」わかりやすさ、善良は「おもてなし」、素朴は「質実剛健」中身充実の意味。

記念講演のほか、基調提

案、高校生のハイヤ踊り、

公開授業、実践発表、シン

ポジウムなどがある。生涯

学習は子どもと大人の交

流、公民館・ビジネス、親

子の3分科会で意見を交わす。

解し、読み取ることが新指

導要領でいう情報の科学的

な理解と直結する」などと

文部科学省の進め方を解説

した。

同研究会は、05年まで2

度、全国大会を開くなど、

活発な取り組みで知られ、

関係者多数が出席して節目

の20周年を祝つた。研究大

会では札幌・北郷小の近井祐介教諭、北星学園女子中

高の貞広康子教諭も実践発表した。



児童が薬物依存の危険性を考えた啓西小の公開授業

生徒指導部便り 啓発に記事活用

函館水産高 山本教諭が報告

日本NIE学会第6回大会が11月21日と22日に東京で開かれ、「言語活動の充実に生きるNIE」を行なった。道内からは函館水産

会が、生徒指導に新聞を活用した例を報告した。

同校は週1、2回「生徒指導部便り」を発行し、いじめや薬物乱用防止の啓発記事を紹介している。

今年9月には、1年前に函館市で発生した少年の集団暴行死について、「事件を忘れてはいけない」とつ

きめや薬物乱用防止の啓發記事を紹介している。同教諭は道外の地方紙か



児童が薬物依存の危険性を考えた啓西小の公開授業

12年は福井市で

日本新聞教育文化財団の博物館・NIE委員会は11月17日の会合で、2012年7月の第17回NIE全国大会の開催地を福井市と決めた。主管は福井新聞社。

2011年夏の第16回大会は東奥日報社が主管し、青森市で開かれる。

子ども向け記事毎週配信



共同通信社

全国の新聞をネットで結ぶ、共同通信の学びのオアシス「47スクール」のHP

全国紙の
取り組み

⑥

新聞紙面での直接の読者を持たない通
信社だが、NIEへの取り組みは活発だ。
国内外のニュースや写真、記事関連のデータを新聞や放送各社に提供、配信する
共同通信社の最近のNIE活動を聞いた。

共同通信では編集委員室
が中心となり、NIE関連の
ニュースを全国の新聞社に
週1回配信している。
話題のニュースを子ども
向けに紹介する「ニュースな
ぜなに」、全国の動物園を取
材して動物の楽しい話題を
書く「生きもの大好き」、「漢
字物語—白川静文字学入門」
などを写真やイラスト付き
で送信。例えば、私が担当し
ている「漢字物語」は文化勲
章を受けた漢字学者・白川静
さんの漢字研究をもとに小

動物や漢字企画 サイトにも掲載

学生で習う漢字の成り立ちについて紹介する企画だ。

同室の他にも文化部が毎週「子ども話題」という子ども関連の話題記事を送信しているし、共同通信の特徴の一端を生かして海外部が「英語で言えた!」を毎週送信して、好評だ。

さらに2年前にNIE欄用の記事をリニューアルした際、インターネットでそれらの記事を読めるようにして、新たにNIEに興味たことも特徴だ。共同通信と全国の新聞社が一緒に作っているインターネットサイト「47(よんなな)NEWS」(<http://www.47news.jp>)のトップページに「学び」のアイコンがあり、そこをクリックすると「47スクール」

のアイコンがある。そこにこれらの記事がアップされている。(事実の変化しやすい「ニュースなぜなに」などは未掲載)

新聞紙面とは一定の時間差をつけて掲載しているが、インターネットのアーカイブ機能を生かして、興味のある連載の過去の記事をずっとさかのぼって読むことが可能だ。

以上の企画の他にも、NIEに関連した全国の記事、3千種以上の虫の写真を収録した東奥日報社の村上義千さんの「あおもり昆虫記」や各新聞社の新聞感想文コンクールの優秀作が掲載されている。

Eメールの優秀作が掲載され

れている。

以上

以上の企画の他にも、NIEに関連した全国の記事、3千種以上の虫の写真を収録した東奥日報社の村上義千さんの「あおもり昆虫記」や各新聞社の新聞感想文コンクールの優秀作が掲載され

れている。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れて

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3

千種以上の虫の写真を収録

した東奥日報社の村上義千

さんの「あおもり昆蟲記」

や各新聞社の新聞感想文コ

ンクールの優秀作が掲載さ

れ

る。

以上

以上の企画の他にも、NIE

に関連した全国の記事、3